

ザイリンクス株式会社、10 月 14 日開催の「Design Solution Forum 2016」で SDSoC 開発環境を紹介

最新の開発手法を共有するエンジニア コミュニティで
エンベデッド C/C++ アプリケーションの開発を可能にするザイリンクスの SDSoC 開発環境を説明

ザイリンクス社の日本法人ザイリンクス株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 サム ローガン）は、10 月 14 日（金）に新横浜国際ホテルで開催される「Design Solution Forum 2016」（主催：Design Solution Forum 2016 実行委員会、一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）のスポンサーを務め、ザイリンクスの SDx™ 開発環境ファミリの一つである SDSoC™ 開発環境を紹介する。今年で 3 回目の開催を迎える Design Solution Forum は、エレクトロニクス技術の急速な進化によりソフトウェアおよびハードウェアの開発手法が大きく変化中、エンジニア同士が最新の開発手法を共有するエンジニア コミュニティであり、新たなビジネスの創出や育成につながる人と技術情報の交流の場を創出する。Design Solution Forum 2016 の詳細は、<http://www.dsforum.jp/2016/index.html> を参照されたい。

Design Solution Forum 2016 でザイリンクスは、同フォーラムで実施される 4 つのセッションのうちの一つである「FPGA Track」で SDSoC 開発環境を紹介する。SDSoC 開発環境は、Eclipse 統合設計環境 (IDE) やヘテロジニアスな Zynq® All Programmable SoC および MPSoC 向けの包括的な開発環境を備えた、使いやすいエンベデッド C/C++ アプリケーション開発環境を提供する。また、ザイリンクス アライアンス プログラムのプレミア メンバーである株式会社 OKI アイディエスは、「Image & Vision Track」で SDSoC の採用事例を紹介する。

展示ブースでは、SDSoC 開発環境を用いて設計した Zynq All Programmable SoC でのステレオ カメラのデモを行う。2 つのカメラから入力情報を 1 つに合成し、視差による距離測定を行うデモを展示する。また、SDSoC 開発環境の拡張された新機能である、イベント トレース機能に対応したシステム レベル プロファイリング ツールも展示する。このプロファイリング ツールにより、関数の並列化の様子やそれぞれのパフォーマンスを一目で確認できるので、システムのボトルネックを迅速に発見することができる。

Design Solution Forum 2016 の主なセッション

日時：10 月 14 日（金）12:45 ～ 13:05

トラック：FPGA Track

セッション：F-4「組込み FPGA 上の HW/SW を全て C ベースで実装 ～ SDSoC のご紹介 ～」

講演者：ザイリンクス株式会社 ツールメソドロジー アプリケーション部 シニア エンジニア 黒田 成一

SDSoC 開発環境を使うと、組込み FPGA 上で関数の回路化を伴うハードウェア / ソフトウェア設計を、すべて C ベースで行えるようになる。このセッションでは、Zynq All Programmable SoC および MPSoC をターゲットとするアル

ゴリズムの高速化に興味を持つエンジニアに対して、従来の高位合成ツールである Vivado HLS との関係を含め、SDSoC 開発環境による C ベースの設計手法やツールフロー、昨年からのアップデートを紹介する。

日時：10月14日(金)16:35～17:15

トラック：Image & Vision Track

セッション：I-10「ザイリックス SDSoC 採用事例紹介、及び MPSoC デモ説明」

講演者：株式会社 OKI アイディエス 担当課長 高橋 渉 氏

HLS をベースとした FPGA 設計ツールとして、ザイリックスの SDSoC 開発環境が注目を集めている。OKI アイディエスでは、実際に SDSoC 開発環境を採用した設計開発を行い、現場でその有用性が認識されてきている。このセッションでは、SDSoC 開発環境の採用事例を紹介するとともに Zynq UltraScale+™ MPSoC デバイスのデモンストラーション開発に関する説明を行う。

ザイリックスについて

ザイリックスは、All Programmable FPGA、SoC、MPSoC、3D IC の世界的なリーディング プロバイダーである。ソフトウェア定義でハードウェアが最適化されたアプリケーションを可能にすることによって、クラウド コンピューティング、エンベデッド ビジョン、インダストリアル IoT および 5G ワイヤレスなどの分野に飛躍的進歩をもたらす。詳しい情報は、ウェブサイト japan.xilinx.com で公開している。

※ ザイリックスの名称およびロゴ、Artix、ISE、Kintex、Spartan、Virtex、Vivado、Zynq、その他本プレスリリースに記載のブランド名は米国およびその他の各国のザイリックスの登録商標または商標です。その他すべての名称は、それぞれの所有者に帰属します。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へ

ザイリックス株式会社 マーケティング部 神保 TEL: 03-6744-7740/FAX: 03-5436-0532

株式会社井之上パブリックリレーションズ ザイリックス広報担当 鈴木/関 TEL: 03-5269-2301/FAX: 03-5269-2305

下記のザイリックス株式会社ウェブサイトもご参照ください。

- トップページ：<http://japan.xilinx.com/>
- プレスリリース (日本語)：http://japan.xilinx.com/japan/j_prs_rls/
- このリリースの全文は次の URL を参照のこと：
http://japan.xilinx.com/japan/j_prs_rls/2016/design-solution-forum-2016.html